

# 令和5年度（2023年度）予算概要

単位：千円、%

会計	令和5年度 (2023年度) A	令和4年度 (2022年度) B	増減		
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B	
一般会計	65,870,000	59,450,000	6,420,000	10.8	
特別会計	財産区事業費	1,725,097	1,807,153	▲ 82,056	▲ 4.5
	国民健康保険事業費	14,263,033	14,113,006	150,027	1.1
	介護保険事業費	11,872,791	11,064,162	808,629	7.3
	後期高齢者医療事業費	2,767,526	2,648,532	118,994	4.5
	公共用地先行取得事業費	1,301,646	1,037,090	264,556	25.5
	介護サービス事業費	13,270	13,047	223	1.7
特別会計の計	31,943,363	30,682,990	1,260,373	4.1	
企業会計	病院事業会計	11,612,143	10,563,867	1,048,276	9.9
	水道事業会計	4,283,923	4,013,282	270,641	6.7
	公共下水道事業会計	3,572,432	3,428,931	143,501	4.2
	ボートレース事業会計	86,578,195	60,955,063	25,623,132	42.0
企業会計の計	106,046,693	78,961,143	27,085,550	34.3	
合計	203,860,056	169,094,133	34,765,923	20.6	

## \*\*\*\* 当初予算の全体像 \*\*\*\*

《一般会計の予算額》 **658億70百万円 < + 64億20百万円、 + 10.8% >**

年度末の開業に向けた北大阪急行線延伸や新駅周辺整備、あいあい園の旧教育センターへの移転にかかる設計及び老朽化設備の改修、児童数増加による萱野東小学校の校舎増築工事などにより、予算額が約64億円増加しました。

《全会計の予算額》 **2,038億60百万円 < + 347億66百万円、 + 20.6% >**

ボートレース事業会計において、SG競走（グランプリ）の開催年にあたるため、予算規模が拡大したことなどにより、全会計の予算総額が約348億円増加しました。

### ◆ 一般会計の主な歳入の状況

- ・ **市税** **250億36百万円 < + 11億06百万円、 + 4.6% >**  
彩都、森町地区における物流倉庫などの新築物件が増えたことによる固定資産税の増加や納税義務者が増えたことによる個人市民税の増加などにより、約11億円増加しました。
- ・ **市債** **47億06百万円 < + 13億60百万円、 + 40.7% >**  
新駅周辺施設や新駅への交通アクセスを確保するための都市計画道路の整備などの財源として市債を発行する予定です。
- ・ **ボートレース事業会計繰入金** **30億円 < + 10億円、 +50.0% >**  
好調な業績を背景に、前年度当初予算から10億円増加した30億円の繰入金を見込んでいます。北大阪急行線の延伸整備にかかる市債発行の抑制や市債の償還などに活用します。

### ◆ 一般会計の主な歳出の状況

- ・ **普通建設事業費（施設整備など）** **156億76百万円 < + 41億43百万円、 + 35.9% >**  
年度末の開業に向けた北大阪急行線延伸や新駅周辺整備、旧教育センターの老朽化設備の改修、萱野東小学校の校舎増築などを実施します。
- ・ **物件費（委託料など）** **101億48百万円 < + 4億59百万円、 + 4.7% >**  
教職員が利用する端末の学習系・校務系統合システムの構築、北大阪急行線におけるラッピング車両の運行などを実施します。
- ・ **人件費** **104億53百万円 < ▲ 2億40百万円、 ▲ 2.2% >**  
定年延長に伴い退職手当が減少したことなどにより、約2億円減少しました。

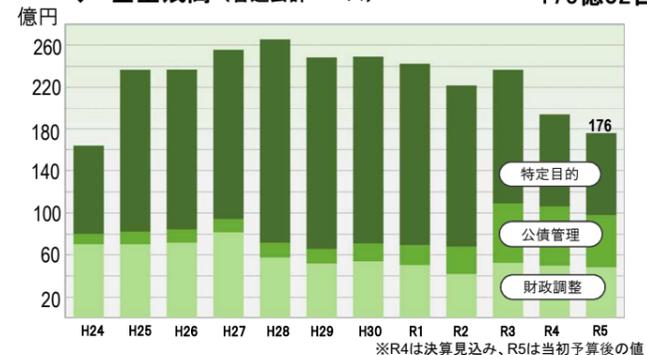
## \*\*\*\* 収支バランスの状況 \*\*\*\*

◆ **経常収支比率（当初予算ベース）** **99.5% < ▲ 0.9ポイント >**



社会保障関係費は増加したものの、市税収入の増や新改革プランに基づく着実な改革の実行などにより、昨年度から0.9ポイント改善し、3年ぶりに100%を下回ることができました。  
引き続き、未来への投資と財政規律の堅持を両立し、堅実な行財政運営を行っていきます。

◆ **基金残高（普通会計ベース）** **175億82百万円 < ▲ 17億88百万円、▲ 9.2% >**



旧松寿荘の売払収入(11億円)を基金に積み立てる一方で、北大阪急行線延伸や都市計画道路を含めた新駅周辺の整備費などに基金を活用するため、基金残高は約18億円減少しました。  
また、都市計画道路事業用地取得のために土地開発公社へ貸付をするため、財政調整基金を約1.4億円取り崩しています。

◆ **市債残高（普通会計ベース）** **562億05百万円 < + 21億00百万円、 + 3.9% >**



昨年度に引き続き、ボートレース事業会計繰入金を活用することで、北大阪急行線延伸整備にかかる市債の発行を”ゼロ”とし、市債の発行抑制に努めました。  
一方で、都市計画道路を含めた新駅周辺の整備、旧教育センターの改修や萱野東小の増築などにかかる市債を発行するため、市債残高は約21億円増加しました。